

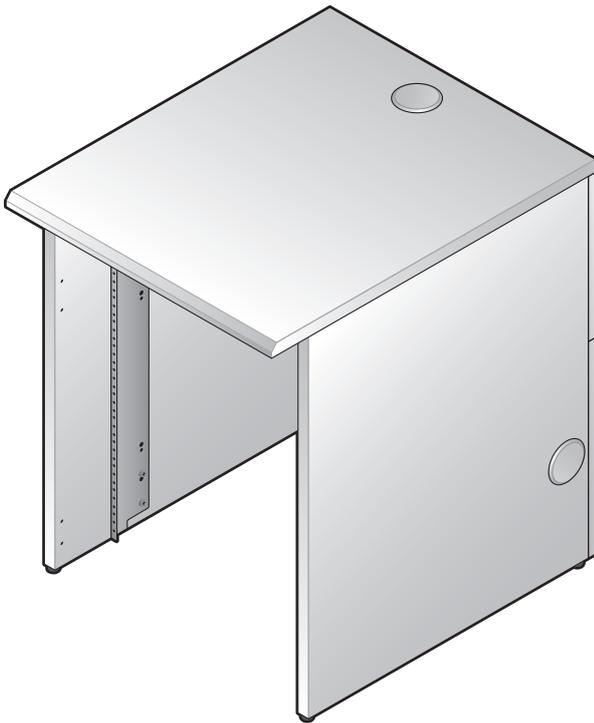
## 施工説明書

### 音声調整卓用袖卓

品番 WL-SA201

### もくじ

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
記号について	2
安全上のご注意	3
機器構成をご確認ください	4
構成部品表	4
取付用ねじ	5
カムロックの正しい締結方法	6
組み立てかた	7
本体卓 (WL-SA200) との連結のしかた	10
仕様	11



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3ページ)を必ずお読みください。

# はじめに

## 商品概要

音声調整卓WL-SA200シリーズの音声調整卓用袖卓です。本体卓WL-SA200（別売品）と並べて設置することができます。

- 天板に音源機器などを載せることができます。
- 付属のラックマウント金具を取り付けることにより、ユニットを収納することができます。
- 天板、側板に通線孔を設けています。（カバー付）
- 背面板（下部）が取り外し可能で、収納機器への配線接続、通線が容易に行えます。

## 付属品をご確認ください

施工説明書（本書）.....	1冊	ラックマウント用ねじ（M5×12リブ付）.....	8本
ラックマウント金具*1.....	2個	ラックマウント金具固定用ねじ（M5×12リブなし）...8本	
2Uブランクパネル.....	1個	1Uブランクパネル.....	2個
カムロック.....	17個（1個予備）	カムロックねじ.....	17本（1本予備）
天板プレート.....	1個	天板プレート固定ねじ（M4×10）.....	4本
背面板下固定用ねじ（M6×25）.....	5本（1本予備）	連結アングル*2.....	2個
連結プレート*2.....	2個	連結用ねじ（M6×15）.....	16本
通線孔キャップ.....	3個	アジャスター.....	4個
束線バンド.....	4本	束線バンド固定ねじ.....	4本

※1 ラックマウント金具は必要に応じて、取り付けてください。

※2 連結アングルと連結プレートは本体卓との連結の際に使用してください。

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 本商品の不良・不具合以外の事由（取付工事の不備、建屋側取付面の不良などを含む）による落下などによる不便・損害・被害

## 記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



**重要** : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



**メモ** : 使用上のヒントが書かれています。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



## 警告



### 付属の取付金具を使用する

落下によるけがや事故の原因となります。

- 設置の際は、付属の取付金具を使用してください。

### 取り付けねじはしっかりと締める

落下などでけがの原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。



## 注意



### 工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。



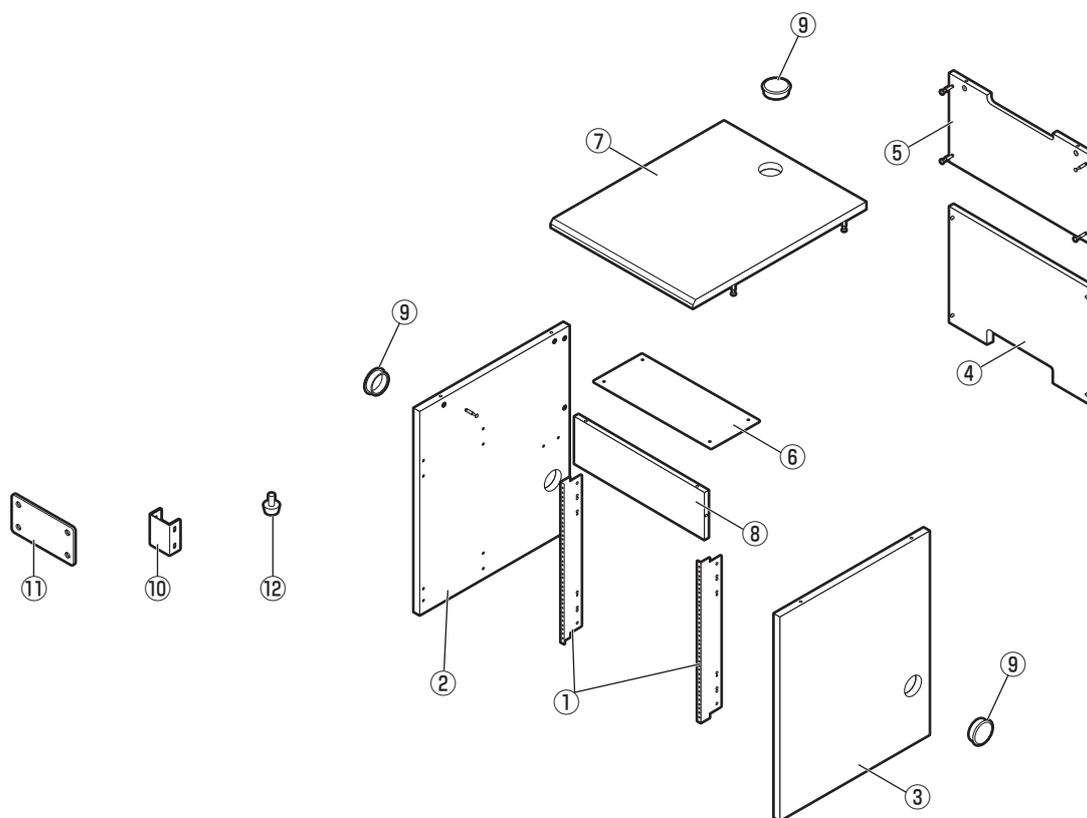
### ふみ台や腰掛けにしない

けがの原因となります。

禁止

# 機器構成をご確認ください

## 構成部品表



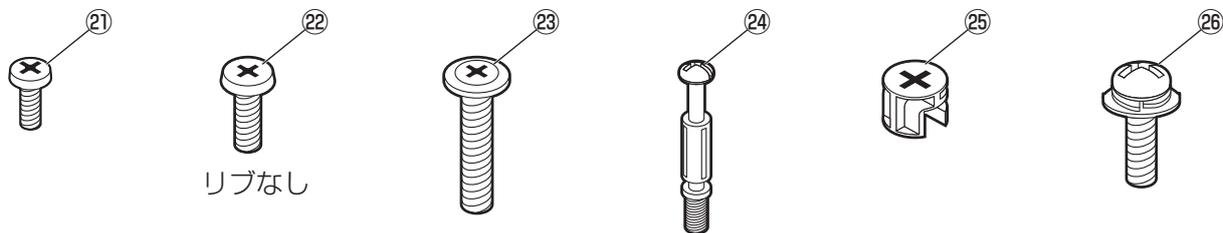
品番	品名	品番	品名
①	ラックマウント金具 (2枚)	⑦	天板 (1枚)
②	側板左 (1枚)	⑧	前面板 (1枚)
③	側板右 (1枚)	⑨	通線孔キャップ (3個)
④	背面板下 (1枚)	⑩	連結アングル (2個)
⑤	背面板上 (1枚)	⑪	連結プレート (2個)
⑥	天板プレート (1枚)	⑫	アジャスター (4個)



- ラックマウント金具は左右同一の部品です。

## 取付用ねじ

### ■ 音声調整卓用袖卓組立用



品番	品名	個数
①	取付ねじ (M4×10) 天板プレート用	4本
②	取付ねじ (M5×12リブなし) ラックマウント金具用	8本
③	取付ねじ (M6×25) 背面板下用	4本
④	カムロックねじ	16本
⑤	カムロック	16個
⑥	取付ねじ (M6×15) 本体と専用卓の連結用	16本

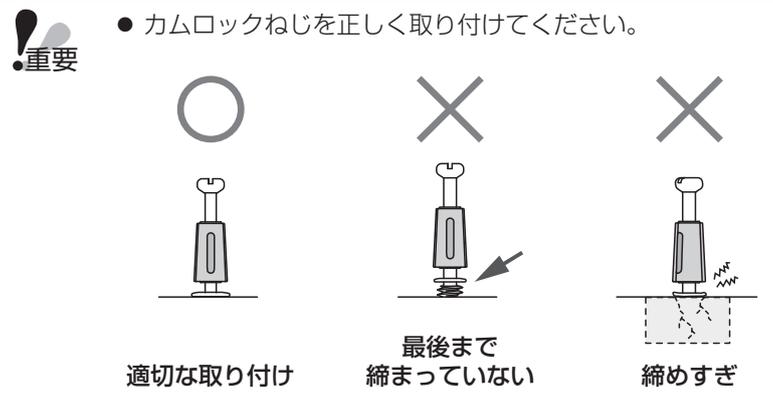
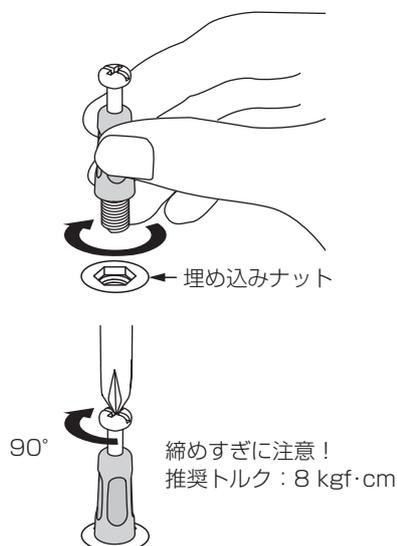
### ■ その他のねじ

ラックマウント用ねじ (M5×12リブ付) …… ラックマウント機器取り付けに使用してください。  
 束線バンド固定ねじ (M4×15) …… 配線処理時の束線バンド固定に使用してください。

# カムロックの正しい締結方法

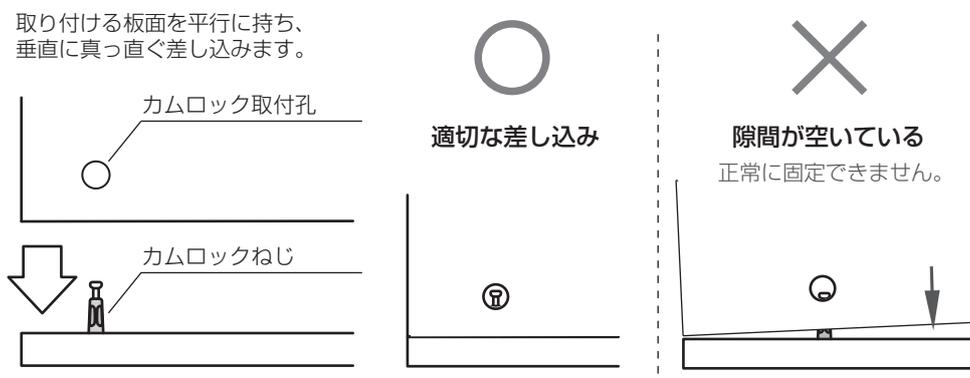
## 1 カムロックねじの取り付け

カムロックねじを板面の埋め込みナットに回し入れます。  
手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90° ほど締めてください。



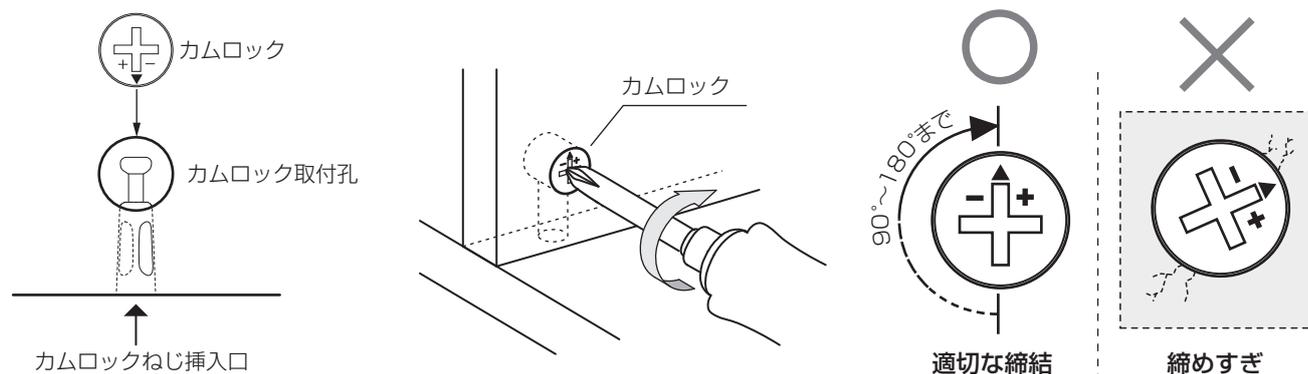
## 2 カムロックねじの挿入

板にカムロックねじを差し込みます。



## 3 カムロックねじとカムロックの締結

カムロック取付孔にカムロックを取り付けます。このときカムロックの▲印がカムロックねじ挿入口に向くようにします。プラスドライバーを使用して、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90° ~ 180° 程度でカムロックがカムロックねじとかみ合って固定されます。



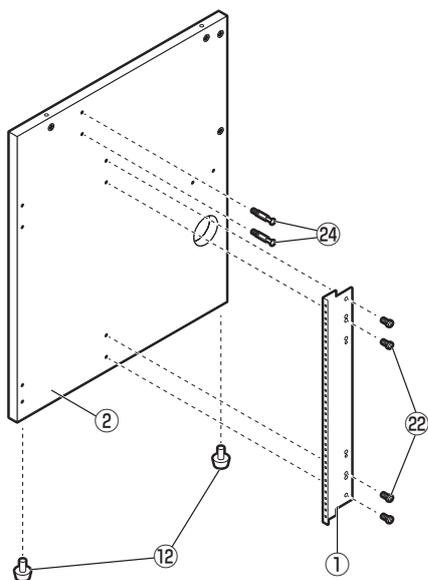
# 組み立てかた



- 本機内にユニットを収納しない場合は、手順1、2のラックマウント金具①の取付作業は不要です。

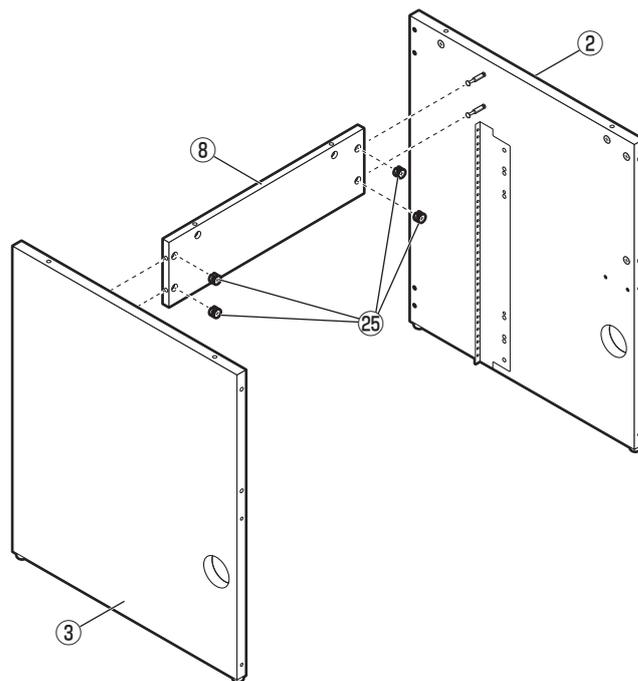
## 1 側板左の組み立て

- (1) ラックマウント金具①を、取付ねじ②で、側板左②に取り付けます。(4か所)
- (2) カムロックねじ②4を、側板左②の埋め込みナットにプラスドライバーで取り付けます。(2か所)
- (3) アジャスター⑫を側板左②に取り付けます。(2か所)



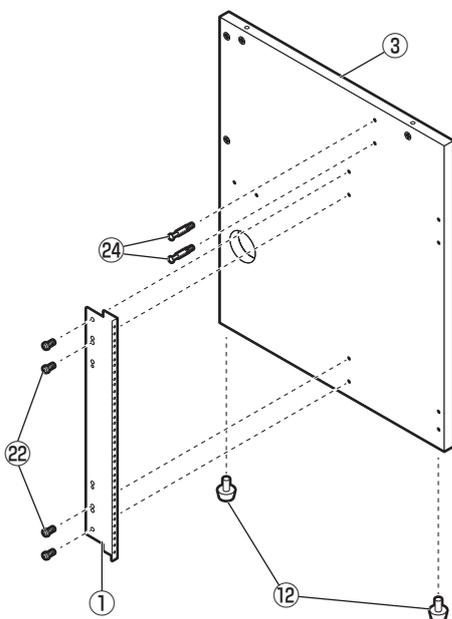
## 3 前面板の組み立て

- 前面板⑧を側板左②と側板右③に差し込み、カムロック⑮の▲マークの向きに注意しながら取付孔に取り付け、プラスドライバーで時計回りに回転させて、締め付けます。(4か所)



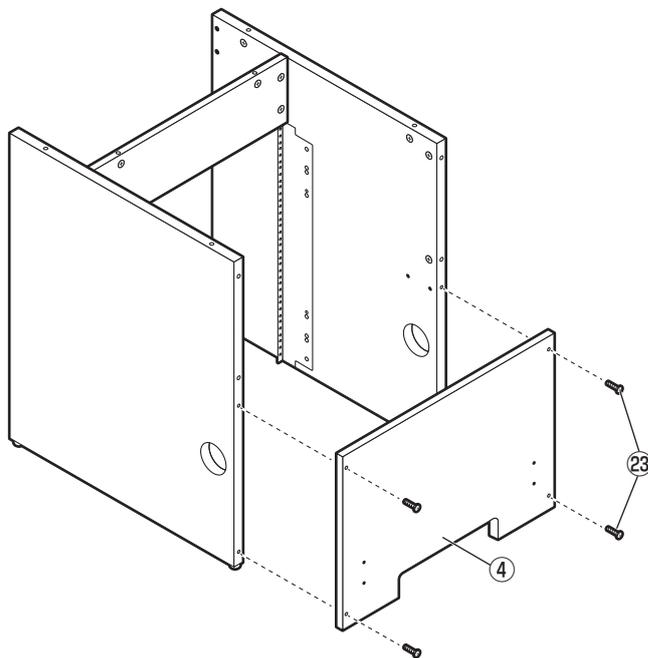
## 2 側板右の組み立て

- (1) ラックマウント金具①を、取付ねじ②で、側板右③に取り付けます。(4か所)
- (2) カムロックねじ②4を、側板右③の埋め込みナットにプラスドライバーで取り付けます。(2か所)
- (3) アジャスター⑫を側板右③に取り付けます。(2か所)



## 4 背面板下の組み立て

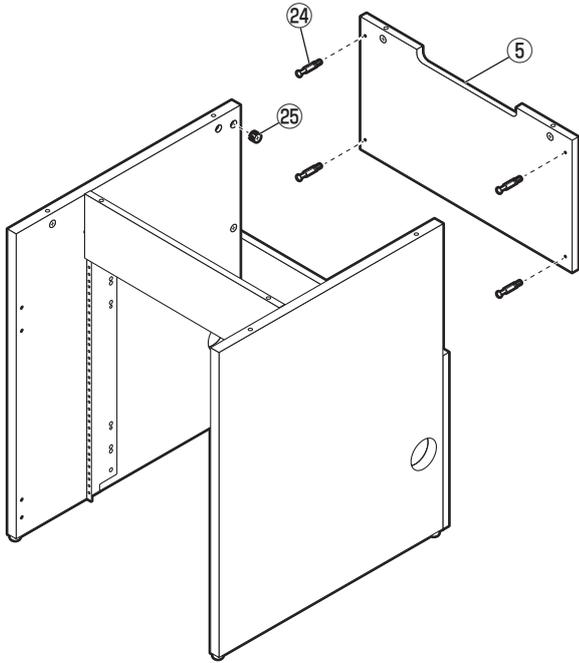
- 背面板下④を、取付ねじ⑮3で、本体に取り付けます。(4か所)



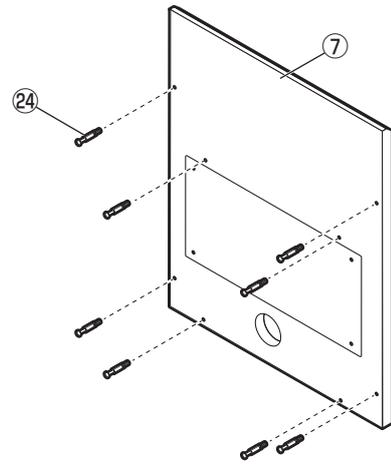
# 組み立てかた

## 5 背面板上の組み立て

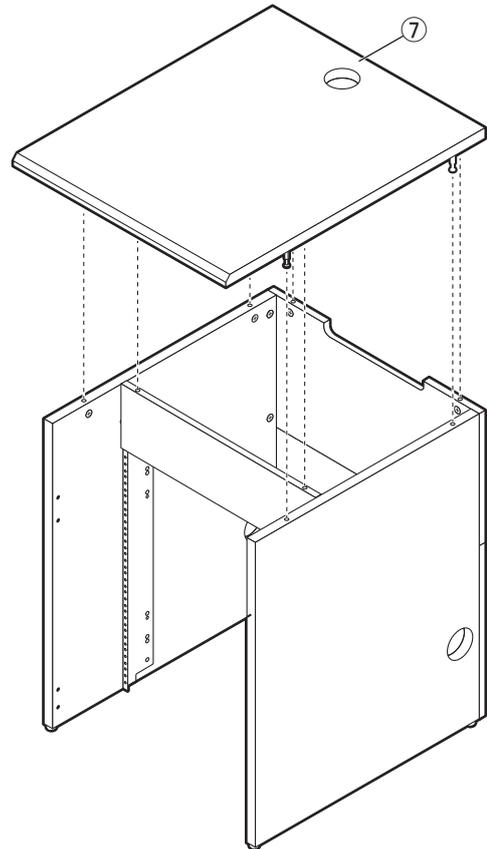
- (1) 背面板上⑤の埋め込みナットに、カムロックねじ⑳をプラスドライバーで取り付けます。(4か所)
- (2) 背面板上⑤を本体に差し込み、カムロック㉕の▲マークの向きに注意しながら取付孔に取り付け、プラスドライバーで時計回りに回転させて、締め付けます。(4か所)



- (2) 天板⑦の埋め込みナットに、カムロックねじ㉔をプラスドライバーで取り付けます。(8か所)

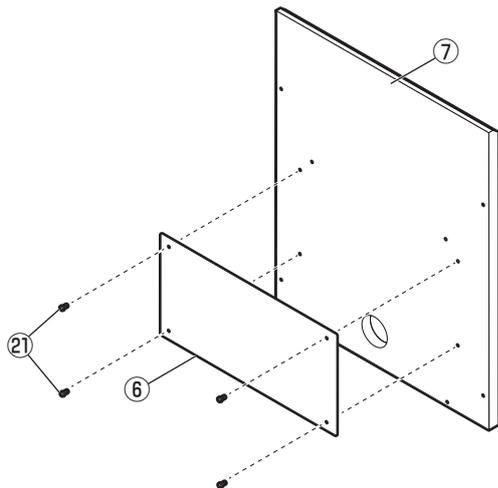


- (3) 天板⑦を本体に差し込みます

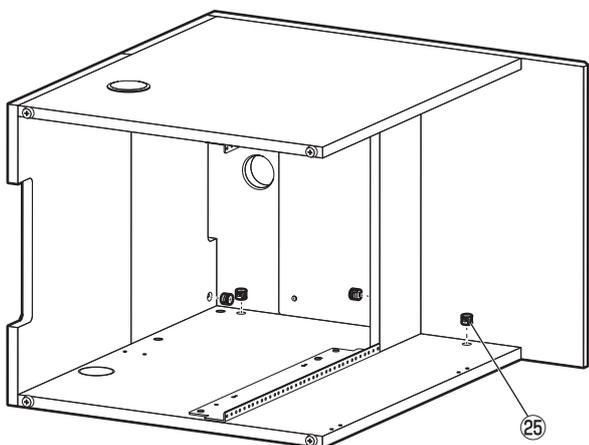
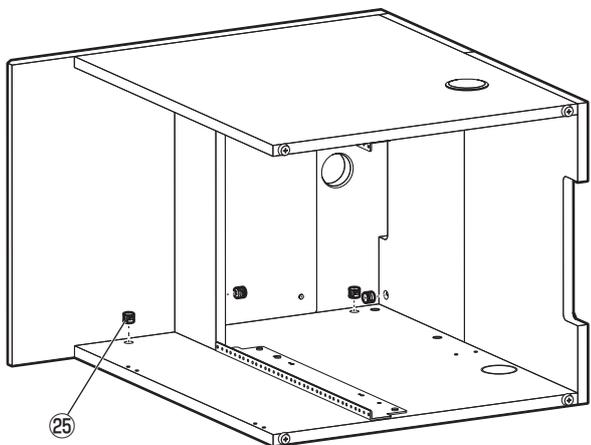


## 6 天板の組み立て

- (1) 天板プレート⑥を、取付ねじ㉑で、天板⑦に取り付けます。(4か所)

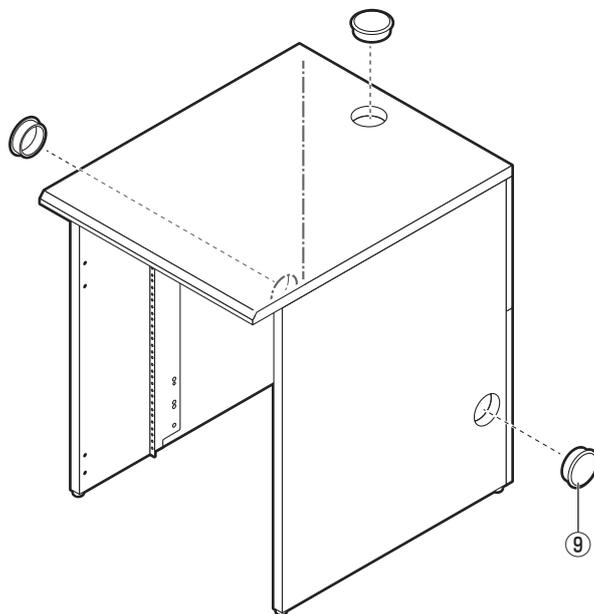


- (4) 本体を横に倒し、カムロック⑳の▲マークの向きに注意しながら取付孔に取り付け、プラスドライバーで時計回りに回転させて、締め付けます。(8か所)



## 7 通線孔キャップの組み立て

本体を縦に戻して、本体の穴3か所に通線孔キャップ⑨を差し込みます。



※ 通線孔キャップ⑨の差し込みがきつい場合は、強く押し込んでください。

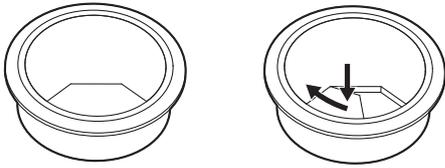


- 座面のアジャスターを回転させて、高さを調整することができます。

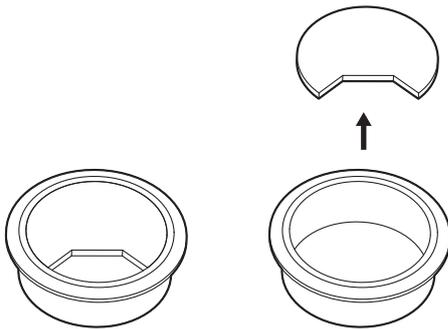
# 組み立てかた

## ●通線孔キャップの使いかた

(1) 指で矢印方向に、押しながら回すと扉が開きます。

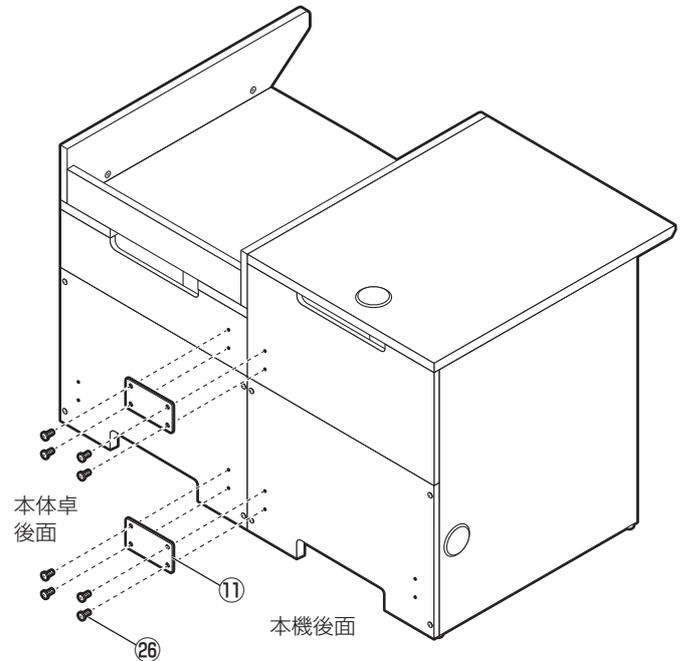


(2) 開口部に指を入れ、上に引っ張ると通線孔キャップの蓋が外れます。



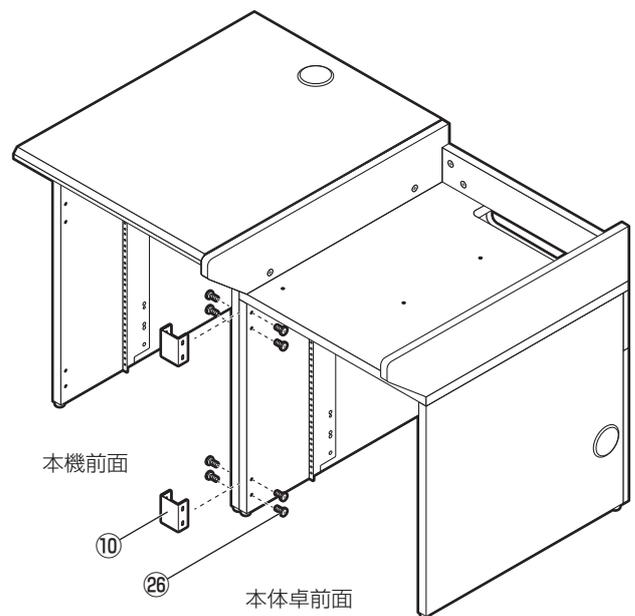
## 本体卓 (WL-SA200) との 連結のしかた

**1** 本機の横に本体卓を置き、連結プレート⑪ (2個) を取付ねじ⑳ (8本) で、本機と本体卓に取り付けます。



※ 連結プレート⑪の取り付けはアジャスターを閉めた状態でおこなってください。

**2** 連結アングル⑩ (2個) を取付ねじ⑳ (8本) で、本機と本体卓に取り付けます。



※ 連結アングル⑩の取り付けは、収納する機器を装着後おこなってください。

# 仕様

---

寸法	幅 523 mm 高さ 720 mm 奥行き 717 mm 収納可能ユニット数：12U*
質量	約22 kg
仕上げ	パーティクルボード AVライトグレー色メラミン化粧板貼付

※ 電力増幅ユニットを収納する場合は以下の収納条件となります。

- WU-PD122/PD182の組み合わせ : 合計で2台まで
- WU-PD122/PD182とWU-P51/P52の組み合わせ : 合計で2台まで
- WU-P51/P52/P53の組み合わせ : 電力増幅ユニットの定格出力の合計が360 Wまで

施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）  
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは [https://biz.panasonic.com/jp-ja/support\\_cs-contact](https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact)

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022

PGQX2312XA  
meSh0319-2042